

令和6年度 のぞみ児童デイサービス事業所(放課後等デイサービス) 事業所評価

令和6年11月～12月 アンケート実施  
令和7年3月31日 公表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・利用人数が多い日もありますが、スペースを確保し活動によって環境を整えて活動を行なっています。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・法令で必要とされている人員に保育士、児童指導員(教員免許等)、と社会福祉士、公認心理師を配置しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	○			・館内段差なく通路には手すりを装備しています。トイレなどのスペースは通常より広く、便器に手すりのある個室を用意しています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			・毎日のミーティングや、事業所の会議でリスク管理や支援内容の検討を行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・年に一度アンケートを実施し改善につなげています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・ホームページ等で公開を実施しています。
	⑦	第三者による外部評価を行ない、評価結果を業務改善につなげているか	○			・外部評価(第三者評価の受審も検討の必要性があると考えています。
	⑧	職員の資質の向上を行なうために、研修の機会を確保しているか	○			・障害者支援施設のぞみ園や事業所、外部機関も利用し虐待、身体拘束、感染、救急等や支援についての研修機会を設けています。
適切な 支援の 提供	⑨	アセスメントを適切に行ない、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・児童指導員、保育士と児童発達支援管理責任者が討議、評価、分析した上で計画作成を行っています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・共通のアセスメントシートを活用しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行なっているか	○			・児童指導員、保育士等職員でミーティングの時間を使い、話し合い立案しています。
	⑫	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	○			・活動内容を子どもの状況に合わせて1か月単位で個別活動の見直しや行事、グループ活動の設定を行い工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			・がんばりタイムで個々に合わせた活動、グループで運動や季節の行事等の活動も設定しています。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・個々の状況や支援計画に沿って個別活動と集団での活動を組み合わせて実施しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・始業前のミーティングで行った上で終了時等に随時行う場合も合わせて実施しています。

	⑩	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行ない、気付いた点等を共有しているか	○			・前日の記録を基に始業前のミーティングや共有のノートで情報共有を図っています。
	⑪	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・主にサービス提供終了後に時間を確保して記録行い、検証・改善努めています。
	⑫	定期的にモニタリングを行ない、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・6ヶ月ごとに保育士、児童指導員の評価を踏まえ児童発達支援管理責任者が実施しています。
	⑬	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行なっているか	○			・生活動作を含む日常生活に必要な活動や、創作活動、余暇活動など様々な活動を行い支援に取り組んでいます。
	⑭	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・状況によっては児童指導員が参加する事もありますが基本的には児童発達支援管理責任者が出席しています。
	⑮	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行なっているか	○			・学校の行事計画などは保護者の方から情報をいただいています。緊急時には緊急連絡体制に沿って連絡、確認を行っています。
	⑯	医療的ケアが必要な子どもを受け入れている場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか				・現在該当する利用者はいません。
	⑰	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・児童発達支援事業を行っており療育事業等を利用し保育所、幼稚園などに対して情報共有や助言等行い連携を図っています。
	⑱	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	○			・各機関、施設等に情報提供ができる体制をとっています。
	⑲	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・研修等機会があれば適時参加しています。
関係機関や保護者との連携	⑳	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・現在は行なっていませんが、今後グループホームなどの利用者や行事の際に地域の子どもたちとの交流する機会を検討しています。
	㉑	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			・圏域の協議会にのぞみ園として参加しています。
	㉒	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・保護者の方へ連絡帳や降所時には必ず様子を伝え共通理解を得たり自宅での様子等お伺いしています。
	㉓	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行なっているか	○			・保護者の方との話し合う機会を設けたり、将来を見越したのぞみ園での施設見学会等も実施したりしています。
	㉔	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行なっているか	○			・契約時にご説明するとともに事業所内に掲示してあります。具体的支援内容については支援計画提示、説明の際伝えるとともに毎回保護者のお迎えの際に内容、状況をお伝えしています。ご不明な点があればいつでもご連絡ください。
	㉕	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行なっているか	○			・相談を受けた場合は必ず助言や了解を得て他機関への連携などサポートを行うよう取り組んでいます。

保護者への説明責任等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	・父母の会、保護者会は現在組織されていません。希望があれば検討していこうと思っています。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・苦情・相談受付マニュアル作成しそれに基づいて迅速に対応した、法人(のぞみ園)の苦情体制(苦情解決委員会)を整備しています。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・年2回の法人会報や夏休み等長期休暇のプログラムの予定なども配布しています。また、今年度からSNSでも行事予定や活動の様子を投稿しています。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			・個人情報についての規定を定め保護者の方に同意書等を了承を得るようにしています。 ・登所、降所時の子どもの様子、連絡事項がある際は周囲の状況を把握し、プライバシーに配慮して対応させていただきます。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・必要に応じて視覚的情報などの活用や文書等において分かりやすい表現に努めています。
	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・今後夏まつりなどの行事の案内、近隣公園や周辺道路の清掃を実施再開していく予定です。
非常時等の対応	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・緊急時対応、感染症対応については各マニュアルを所内に掲示周知に努めています。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか	○			・火災、地震想定避難訓練を3か月程度ごとに行い、避難訓練を実施しています。
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・職場研修で虐待防止、身体拘束についての研修を行なっています。また、障害者支援施設のぞみ園や外部機関も利用し虐待、身体拘束、感染、救急等や支援についての研修機会を設けています。
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行なうかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・やむを得ず身体拘束を行なう場合、保護者には個別支援計画の説明を行なう際十分に説明しています。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			・アナフィラキシーに対するマニュアルを常備しています。
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・その都度事例を記録として残しミーティング、支援会議等で対策の検討、周知をおこなっています。